

経済情勢座談会

田中 修

はじめに

7月15日の4-6月期GDP発表を控え、習近平総書記は7月8日、経済情勢座談会を開催し、当面の経済情勢と経済政策について専門家・学者から意見・建議を聴取した。また7月11日には、李克強総理も経済情勢座談会を開催している。本稿では、この2つの会議の概要を紹介する。

1. 経済情勢専門家座談会（7月8日）

（1）出席者

国家金融・発展実験室 李揚理事長

中国経済体制改革研究会国民経済研究所 樊綱所長

国務院発展研究センター 王一鳴副主任

遼寧大学経済学院 謝地院長

上海社会科学院 王戰院長

湖北省発展・改革委 李樂成主任

深圳市発展研究センター 吳志康主任

宝鋼集団 徐樂江董事長

美的集団 方洪董事長

社会科学院、人民大学等の専門家・学者

王滬寧中央政策研究室主任、栗戰書党弁公庁主任、万鋼科学技術部長、周小川人民銀行行長

（2）習近平総書記の重要講話（新華社北京電 2016年7月8日）

現在、経済運営は基本的に平穏であり、予想と経済情勢に対する中央の判断に符合している。

経済のファンダメンタルズと社会の大局は基本的に安定しており、金融市場の運営は総体として平穏であり、サプライサイド構造改革は新たな進展を得ている。しかし、経済動向は依然分化しており、新旧の発展動力の転換にはプロセスが必要であり、新たな動力の成長の勢いは加速しているところである。

趨勢からすると、経済発展が長期に好転しているファンダメンタルズに変わりはなく、経済の強靱性が好ましく、潜在力が十分で、挽回の余地が大きいという基本的特徴に変わりはなく、経済の持続的成長を支える良好な基礎・条件に変わりはなく、経済構造の調整・最適化が前進する態勢に変わりはない。

経済運営からすると、わが国の経済発展の新常態という特徴はさらに明白となっており、自信を確固とし、力を強め、サプライサイド構造改革を断固として推進し、新たな経済構造を育成し、新たな発展動力を強化しなければならない。

マクロ経済政策は、安定の中で前進を求めるといふ政策の総基調を堅持し、総需要を適度に拡大し、積極的財政政策と穏健な金融政策を引き続き実施しなければならない。

サプライサイド構造改革を推進することを主線とし、「過剰生産能力削減・住宅在庫削減・脱レバレッジ・企業のコスト引下げ・不足の補充」の重点任務をしっかりと力を入れ適切・有効に実施しなければならない。

発展への期待をうまく誘導し、安定したマクロ経済政策によって社会の予想を安定させ、重大な改革措置の実施によって、発展への自信を強めなければならない。

中国の特色ある社会主義政治経済学を堅持し発展させるには、マルクス主義政治経済学を導きとし、わが国の改革開放と社会主義現代化建設の偉大な実践経験を総括し精華を抽出すると同時に、西側の経済学の有益な成分を参考としなければならない。

中国の特色ある社会主義政治経済学は、実践においてこそ豊富になり発展できるのであり、実践の検証を経て、さらに実践を指導しなければならない。

研究・模索を強化し、法則性の認識への総括を強化し、中国の特色ある社会主義政治経済学の理論体系を不断に整備し、中国の特色、中国の風格、中国の気概を充分体现する経済学科の建設を推進しなければならない。

錯綜し複雑な内外政治経済情勢の下、より好い発展を実現するには、情勢・環境をより好く分析し、戦略的チャンスの時期の内容と条件の変化をより好く把握し、マクロ経済の大勢をより好く把握し、試練により好く対応しなければならない。

このため、国際的に一流のエコノミスト、国際的視野を備えた企業家の育成を加速しなければならない。

各レベルの党委員会・政府は、知識を尊重し、人材を尊重し、専門家・学者に意見を求める習慣を養い、専門家・学者の積極性・主動性・創造性を動員し、知的資源を活用しなければならない。

専門家・学者の提起した意見・建議について、正しいものは積極的に採用しなければならない。

専門家・学者は、国情に立脚して深く調査・研究を行い、重大理論・問題と現実の問題の研究に力を入れ、客観的な経済の事実から出発することを重視し、経済現象の背後にある本質・ルールを明らかにし、実践の検証を経た研究成果を多く出すよう努力し、経済社会の発展のために計を謀り、献策しなければならない。

2. 経済情勢専門家・企業家座談会（7月11日）

経済情勢を科学的に検討・判断し、経済政策をしっかりと行うことについて、専門家・企業家から見方と建議を聴取した。国務院からは、張高麗・劉延東・馬凱各副総理、楊晶・王勇各国務委員も参加した。

李克強総理の発言の概要は以下のとおりである。

当面の経済政策は、まず情勢を科学的に把握しなければならない。

今年に入り、困難が増大し試練が峻厳な内外環境に対し、有効なマクロ政策の実施を通じて、わが国の経済運営は基本的に平穏であり、予想に符合し、構造は好転している。

4-6月期の経済は、1-3月期の平穏な成長の態勢を継続しており、内需は大黒柱の役割を果たし、物価水準は総体として安定し、各改革は積極的な進展を得て、ニューエコノミー等は急速に発展し、都市新規就業増 700 万人超をもたらし、一部の伝統企業も新技術・新モデルの発展を通じてグレードアップ・発展の新たな道を歩んでいる。この成果は、実に容易なことではない。

同時に、情勢の複雑性について十分推し量らなければならず、世界経済・グローバル市場の需要は依然低迷し、国際環境において新たな不確定要因がなお増加しており、今後続く影響は予想し難い。

国内の地域・業種は分化傾向にあり、深層レベルの矛盾の解決にはなおプロセスと多くの努力が必要であり、下振れ圧力はなお継続し、多重の自然災害も経済運営と大衆の生活にかなり大きな影響をもたらしている。

自信を確固とし、困難に立ち向かわなければならず、マクロ政策の方向を安定させ、タイミングを見計らったコントロールと事前調整・微調整を強化し、各種のリスクを積極的に防止し適切に解消して、改革・構造調整を促すことを通じて経済の安定成長を維持し、合理的区間で運営させなければならない。

中国経済の転換・グレードアップを引き続き推進し、安定の中で前進を求めることを堅持し、改革・開放・イノベーションに依拠して、総需要を適度に拡大し、サプライサイド構造改革を主線として、市場主体の期待に対応して、行政の簡素化・権限の委譲、開放と管理の結合、サービスの最適化改革の深化に力を入れ、営業税の増値税への転換等の減税・費用引下げ政策の効果を好く発揮させて、「過剰生産能力削減、住宅在庫削減、脱レバレッジ、企業のコスト引下げ、不足の補充」の実行を推進しなければならない。

市場化・法治化の方式と総合的な措置を採用して、企業のレバレッジ率を徐々に引き下げる。

生産能力削減と従業員の合法的権益の保障とのバランスをうまく処理し、条件を創造して余剰人員を転職させ一時帰休させないことを実現する。

イノベーション駆動による発展戦略を大いに実施し、大衆による起業・万人によるイノ

バージョンを掴みどころとして、市場の活力をより大きく奮い立たせる。「インターネット+」に依拠し、新技術・新業態・新モデルの勢い盛んな興隆を促進し、新就業形態の発展を促進し、新動力の成長を促進して、伝統産業の改造・グレードアップをけん引し、新旧動力エネルギーの転換を加速する。新たな経済構造を育成し、供給の最適化・成長の支え・雇用吸収・民生改善においてニューエコノミーのますます重要な役割を發揮させる。

新しいタイプの都市化の有効需要をけん引・拡大する潜在力を積極的に發揮させ、洪水防止プロジェクト、都市地下共同溝等のインフラが脆弱な部分の建設を強化し、経済発展と民生分野の不足部分を早急に補い、人民大衆に恩恵を及ぼし、発展の持続力を増強する。

今年は第13次5カ年計画のスタートの年であり、チャンスと困難が併存している。専門家・企業家各位が国家の改革・発展における重大な問題と際立った難点について、良策を多く謀り、実績を多く創り上げることを希望する。

また、各方面が共同で努力し、時を重視し、行動を第一として、堅塁を攻略し困難を克服して、年間の経済社会発展の重要任務の実現に奮闘し、経済が中高速成長を維持・促進し、ミドル・ハイエンド水準へと邁進するよう希望する。

(7月15日記)